

SDGs 達成に向けた宣言書

申請者 所在地 秋田県秋田市保戸野桜町 15-27
名称 有限会社 御献上カスティーラ
代表者 佐々木 茂樹

有限会社 御献上カスティーラ

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

持続可能な社会を目指す SDGs 17 の目標のうち、主に2番目（飢餓をゼロに）の目標に取り組むことを誓います。2番目の目標を中心に、7番（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）、13番（気候変動に具体的な対策を）、14番（海の豊かさを守ろう）、15番（陸の豊かさを守ろう）の目標を達成することを誓います。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 (※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年 1月17日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 □社会 ☑環境	【昆虫食とスイーツの掛け合わせ】 弊社は、昆虫（主にコオロギやバッタ）粉末を洋菓子と掛け合わせ、地球環境にやさしく、同時に美味しい洋菓子を追求め、これまでにない新たな洋菓子を開発します。	世界的な人口増加に伴い、2030年頃には食糧が全人口に行き届かなくなるという問題、が国内に限らず国際的にも懸念されています。そのような中で、近年では昆虫食に注目が集まっています。昆虫食を取り入れた洋菓子を開発し、これまで食として見過ごされてきた分野を開拓し、新たな食分野を築くことを目標としています。	令和3年の申請時点では、世界的に昆虫食が注目されていて、弊社も【昆虫食とスイーツの掛け合わせ】という目標を掲げていたが、その後、一部の昆虫以外は昆虫食に適さない可能性があるためメディア等で報道され、弊社は食の安全を第一とし、残念だが目標を断念した。	2
☑経済 ☑社会 □環境	【規格外の果物を使用したチーズケーキの開発】 形状が正常ではない規格外と判断された果物は廃棄されてしまふことが多いですが、規格外果物を細	世界的な人口増加に伴い、2030年頃には食糧が全人口に行き届かなくなるという問題、が国内に限らず国際的にも懸念されています。形状が正常ではないという理由から多くの食材が廃棄されていることは、飢	東商事その他果物農家から規格外果物を仕入れ、ペースト状にし、チーズケーキの生地混ぜ込み、商品を販売している。本来であれば捨てられていることが通常である果物を安価で購入し、	2 12 15

	かくペースト状にしてチーズと混ぜ合わせるにより、フルーティーなチーズケーキを商品化することを目標としています。	餓を促進させてしまうということはもちろん、生産者にとって経済的損失になってしまううえに、環境に悪いという問題があります。廃棄される果物でも細かくペースト状にし、チーズと合わせ、商品化することにより、このような問題が解消される可能性があります。	商品に加工し販売しているため、秋田県の食の分野での経済や社会性に貢献できているという自負はある。	
□経済 □社会 ☑環境	【食料輸入を減し地産地消に取り組む】海外輸入に極力頼らず、地産地消を意識した原材料で、洋菓子を開発・販売することを務めます。	通常、洋菓子は原材料の多くを海外からの輸入に頼って作ります。小麦や果物や卵などは日本で品質の良いものがありますので、地産地消が可能なものは極力国産（主に東北）のものを使用することを目標とします。地産地消は輸送時のエネルギー削減に大きく貢献します。エネルギーの多くは化石燃料ですが、化石燃料はCO2を多く排出してしまい、地球環境には良くありません。エネルギーコストの削減や環境問題に取り組むために、弊社は使用する原材料の多くを地産地消のものを使用することを目標にします。	小麦は岩手県産のものを使用し、チーズケーキに混ぜている果物は主に秋田県産のものを使用している。国産の材料は極力、県内若しくは東北内のものを仕入れるように心がけているため、地産地消は大いに意識し、輸送時のエネルギー削減に大きく貢献できているという自負はある。	13

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	